

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

直ちに製品化する

フィリップ・コトラー (マーケティングの父、米ノースウェスタン大学経営大学院教授)

- 革新的組織には、いくつかの人材が必要だ。言い出しっぺの人 (Activators) がアイデアを出し、観察者 (Browser) がオリジナルで面白いものかどうか精査する。続いてクリエイター (Creators) が、アイデアを試行できる概念に落とし込み、さらに開発者 (Developer) が試作品或いはビジネスモデルにし、スキルを持った実行者 (Executors) が資金提供者 (Financers) の協力を得て世に出す。我々はこれを、「イノベーションのABCDEFモデル」と呼んだ。
- 私は常々、新しいアイデアを生み出してきた日本の大企業についてよく考える。ソニー、日産、ホンダのかつてのリーダーたちはいずれも、新しいアイデアを生み出して試し、世に出す力を持っていたはずだ。私が切に訴えたいのは、新しいアイデアを考え出してから開発に3年もかけるのはやめたほうがいいということである。それより、アイデアをすぐにシンプルな形に落とし込んであちこちで試し、関わった人々に感想を聞きながら改善し、さらに試す、といったことをやったほうがいい。
- アイデアをごくシンプルなバージョンにして素早く試しながら、製品やサービスの改善を続け、これで大丈夫だと確信が持てたら、直ちに製品化するのだ。 (参考:「日経ビジネス」2020年11月23日号)

経営者のための理念・哲学

「至誠と実行」で運命を開く

- 成長には二つの原理があると思う。その一つは「人間は本物に出会わなければ本物にはならない」。その通りだろう。これは大きな魂に出会わなければ大きな魂にはなれない、と言いかえることもできる。
- もう一つは安岡正篤の言葉だ。「人間は何にしびれるかだ。何にしびれるかによって、その人は決まる。中江藤樹は論語と王陽明にしびれていた。人間は本物にしびれなければならない」。ある対象と正対してジンジンする。これが「しびれる」ということだろう。何に対してジンジンするか。運命をひらく要訣ここにあり、といっても過言ではない。二宮尊徳の言葉に「我が道は至誠と実行のみ」がある。
(参考:「致知」:2021年1月号)

経営者のための経済学

更に将来世代へ借金を先送り (日本)

- 「GO TOトラベル」の費用は政府が支払っている。財政支出拡大後に帳尻を合わせるには、①歳出カット、②増税、③経済成長による税収増、④インフレ、⑤国債増発で将来世代へ借金を先送り、のいずれかである。だが、コロナ禍が終息しないことには①と②は大規模に実施できないし、③も期待しづらい。④も今は起きにくい状況だ。⑤が世界的にとりあえず選択されている。
- 米国では民主党は国債増発に寛容なので、財政刺激策が拡大されるだろう。しかし、日米両国の相違点を確認しておこう。第一に、GDPに対する政府債務の比率は、日本は266%で世界1位だが、米国は131%で13位だ。第二に、20~64歳の人口は今年から2070年にかけて米国は10%増加だが、日本は40%も減る。70年の20~64歳に対する65歳以上の人口比率は、米国51%、日本は93%で、超高齢化を念頭に財政運営を考えなければならない。
(参考:「週刊ダイヤモンド」2020年11月7日号)

古典に学ぶ

権利思想を含む (孔子教)

(解説) かくのごとき空気の中に成長し来た孔子をもって、二千年後の今日、まったく思想を異にしたキリストに比するは、既に比較すべからざるものを比較するのであるから、この議論は最初よりその根本を誤ったものというべく、両者に相違を生ずることはもとより当然の結果たらざるを得ないのである。しからば孔子教には権利思想を欠いているであろうか。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)